

## はじめに

子どもたちに豊かな人間性や社会性をはぐくむことは、すべての人々の願いです。今回の教育課程の基準の改訂においても、このことが改訂の基本方針の第一に述べられており、解決しなければならない重要な課題であることは周知のとおりです。

しかし、子どもたちの現状には、受験競争の過熱に伴うゆとりのない生活、耐性の不足、規範意識の問題など課題が多く見受けられ、学校生活においても深刻な状況が増えてきています。

こうした問題を乗り越え、子どもたちが生きがいをもって生活できるように、東京都では、保護者、教師、学識経験者等と連携・協力をしながら様々な対応策を検討してきました。

その一環として、東京都立教育研究所ではプロジェクトチームを編成し、平成10年度から子どもたちの衝動的・攻撃的な行動と授業妨害・拒否（いわゆる「学級崩壊」につながる具体的な現れ）の問題の研究を進めてきました。

二年目を迎えた今年度は、小学校における授業妨害・拒否の問題を中心にすえ、昨年度明らかにした「揺れ動く心」の実態をさらに追究し、「イライラ感」の高い子どもの特徴や子どもたちの人間関係と学級のまとまりについて心理と行動の面から把握し、その背景を探るようにしました。また、きまりの指導についての子ども、教師、保護者への意識調査や学校の事例を基にして、その対応策を考えてきました。

授業妨害・拒否の問題解決には、子ども、教師、保護者、三者の信頼関係を構築していくことが重要であるという認識から、第3章に具体的な対応例を、また、第4章に予防策を提示しました。さらに、最後には、研究のまとめとともに教師、学校、保護者、社会への提言を7項目示しました。

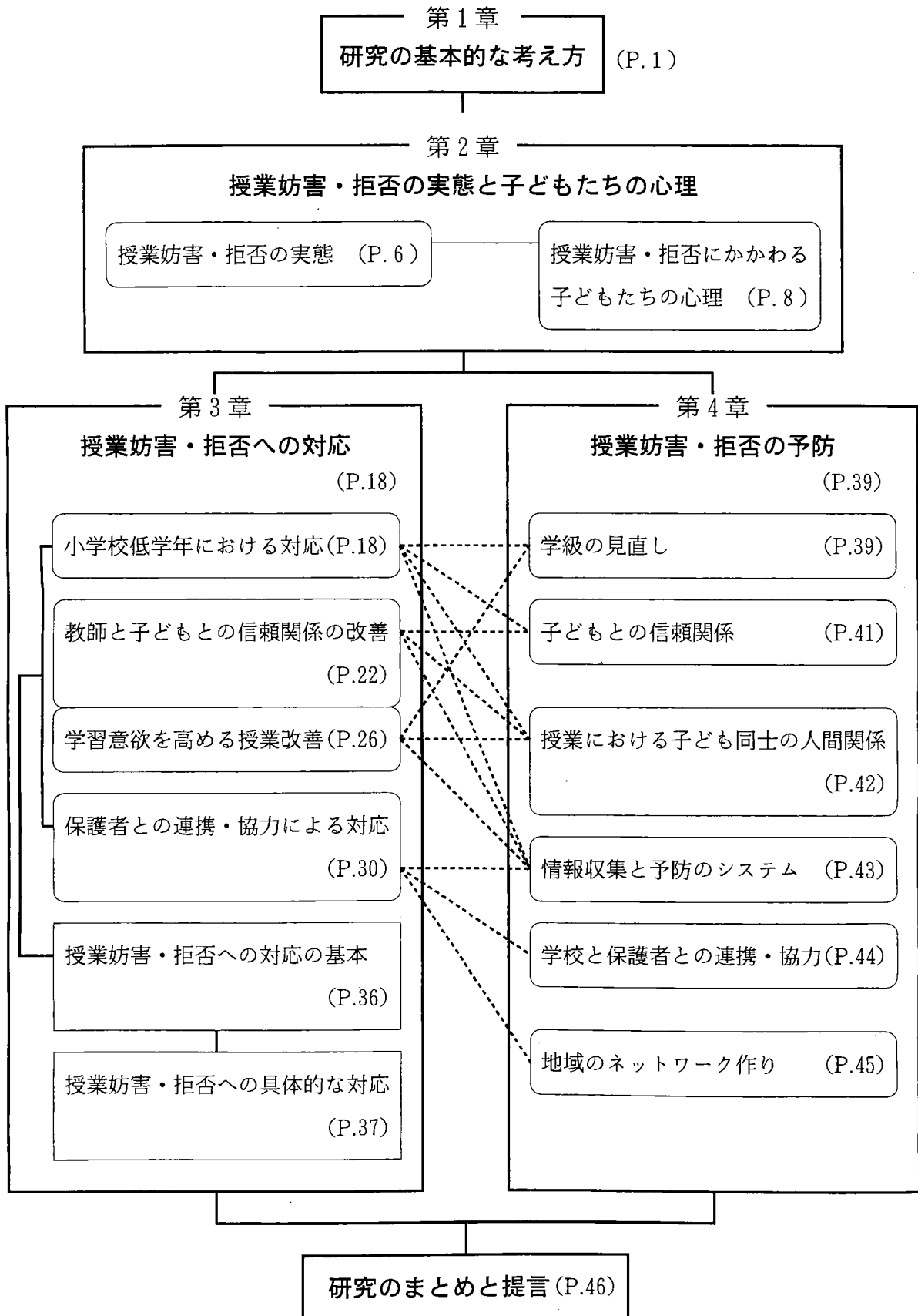
本書が、学校関係者のみならず保護者や都民の方々に活用され、子どもたちの健やかな成長への一助になれば幸いです。

平成12年3月

東京都立教育研究所長

真野宮雄

# 〈本書の全体構成〉



# 目 次

はじめに

報告書の構成

第1章 研究の基本的な考え方 .....	1
1 研究の内容・方法 .....	1
(1) 研究のねらい .....	1
(2) 研究の構想 .....	1
(3) 研究の組織 .....	2
(4) 調査の概要 .....	2
2 子どもたちの揺れ動く心の実態と対応（平成10年度の研究から） .....	3
(1) 子どもたちの揺れ動く心の実態 .....	3
(2) 子どもたちの揺れ動く心の背景 .....	3
(3) 子どもたちの揺れ動く心への対応（提言） .....	3
3 授業妨害・拒否のとらえ方 .....	4
(1) 授業妨害・拒否とは .....	4
(2) 授業妨害・拒否にかかわる要因 .....	5
第2章 授業妨害・拒否の実態と子どもたちの心理 .....	6
1 授業妨害・拒否の実態 .....	6
(1) 東京都教育庁「小学校における学級経営にかかわる調査」 .....	6
(2) 東京都生活文化局「東京都子ども基本調査」 .....	7
2 授業妨害・拒否にかかわる子どもたちの心理 .....	8
(1) イライラ感の高い子どもの実態 .....	8
(2) 学級における子どもたちの人間関係と学級のモラル（士気） .....	10
3 A小学校における授業妨害・拒否の実態と取り組み（事例） .....	13
(1) 授業妨害・拒否の状態が続いているX学級（第3学年） .....	13
(2) 昨年度に授業妨害・拒否があったが回復したY学級（第4学年） .....	14
(3) 授業妨害・拒否の前兆に気付き予防に成功したZ学級（第4学年） .....	16

第3章 授業妨害・拒否への対応 .....	18
1 小学校低学年における授業妨害・拒否への対応 .....	18
(1) 低学年の子どもの心理と行動 .....	18
(2) 子どもの発達を踏まえた授業改善や集団作りへの取り組み（事例） .....	20
2 教師と子どもとの信頼関係の改善 .....	22
(1) 教師と子どもとの信頼関係と授業妨害・拒否 .....	22
(2) 担任の柔軟性に欠ける学級経営に対する子どもの不満への対応（事例） .....	24
3 授業妨害・拒否をする子どもの学習意欲を高める授業改善 .....	26
(1) 授業への不満を解消するための授業改善 .....	26
(2) 教師中心の授業からの転換を目指した担任の努力（事例） .....	28
4 保護者との連携・協力による対応 .....	30
(1) 保護者との連携・協力を図る上での課題 .....	30
(2) きまりの強い指導をする教師、それに依存的な保護者、双方の子どもの見方を 変える取り組み（事例） .....	32
(3) 強く自分を主張する保護者と教師との間で深まった溝を修復した取り組み （事例） .....	34
5 授業妨害・拒否への対応の基本 .....	36
6 授業妨害・拒否への具体的な対応 .....	37
第4章 授業妨害・拒否の予防 .....	39
1 学級をどのように見直したらよいか .....	39
2 子どもが教師に信頼を寄せるためにはどのようにしたらよいか .....	41
3 授業において子ども同士の間人間関係を豊かにするには どのようにしたらよいか .....	42
4 情報収集と予防のシステムをどのように構築したらよいか .....	43
5 学校と保護者との連携・協力をどのように進めたらよいか .....	44
6 地域のネットワーク作りをどのようにしたらよいか .....	45
○ 研究のまとめと提言 .....	46
○ 資料、引用・参考文献 .....	49